

〔No.10〕 符号形態通信に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) デジタル信号は符号化された信号で、信号波形は“Hi”又は“Low”となり、コンピュータ内では“1”又は“0”に処理されている。
- (2) 並列通信方式は、送信側と受信側間で複数の通信線で接続してデータを送る方法で、直列通信方式に比べ通信線数が多くなる。
- (3) 直列通信方式は、送信側と受信側を1本の通信線で結び、データを時系列に順番に送る方法で、並列通信方式に比べて情報の伝送速度が速い。
- (4) 直列通信方式は、送信側と受信側で、データ授受についての通信規格を決めておかないと解読できない。